

会社概要

岩手県久慈市の地域資源である木炭（黒炭）の生産を、創業より100年以上続けている。伝統的な手法で生産した高品質木炭の新たな販路として、海外への輸出を進めている。
（資本金2,000万円、従業員83名）

課題

- ・地域木炭生産者の高齢化と生産量減少が続く中での新たな販路開拓
- ・日本国内への安価な海外産木炭の輸入による競争激化
- ・これまで輸出実績がほとんど無かった日本産の黒炭として、認知度向上のためのPR活動が必要

取組概要

- ・米国を中心に、北米地域における木炭関連の市場調査を実施
- ・海外向けとして、英語表記と危険物での輸送が可能な梱包容器での試作品を作成
- ・今後の販売を見据えて、米国内での商標登録を申請実施
- ・2023年1月13日・14日に米国カリフォルニア州で開催された「Asian American Expo」にて試作品の展示とアンケート調査を実施



[木炭（黒炭）]



[海外向け試作品]



[米国展示会出展]

支援P 山添哲男（JETRO ハンズオン支援活用）

支援Pが果たした役割

- ・危険物とされる木炭の輸出における環境構築
- ・輸出条件に関する交渉支援や輸出通関等の手続き、書類作成等の助言
- ・JETRO海外拠点ネットワークによる情報収集

取組の効果

- ・米国における木炭市場は年500万米国ドル以上の規模で、消費量は日本国内の木炭生産量の約50倍にも相当する巨大な市場であり、今後の展開が大いに見込めることを、市場調査を通じて確認出来た。
- ・試作品での輸出実績により、海外輸出向け梱包や米国内での商標申請を通じて今後の輸出販売の足掛かりとすることが出来た。
- ・展示会出展とアンケートにより、当社木炭に対する米国での評価や想定価格帯などを知ることが出来た。